

大原社会問題研究所五十年史

II 創立当初〔一九一九～二二年〕

研究所財団法人となる

さて研究所の事業も緒につき、その基礎も固まったこの時期にあたり、大原氏はこれを財団法人として独自の自治的な機構となし、自らは表面上の関係を断ちたいとの意向をもってこの旨を高野氏に洩らし、高野氏もこれを歓迎して七月以来、高田幹事と法人設立の申請案文を練った。一〇月二〇日には高野、柿原両氏は法人設立にともなう役員改選問題等について協議し、柿原氏は各評議員に了解を求めることになった。さらに高野氏は一二月二日倉敷に大原氏を訪ね、つぎの諸項目を提案して大体その賛成を得ることができた。すなわち、一

- (一) 財団法人の設立により、所員の意向をよく聞く組織とすること。
- (二) 法人の理事は高野、高田これに当ること。
- (三) 研究所と同人社書店は相互扶助でやって行く、ただし同人社はあくまで営業として出版事業をつづけること。
- (四) 『日本社会衛生年鑑』は本年に限り研究所で編集発行するが、明年以後は労研にゆずる。

右の了解が成立し、新しい組織とその運営について高野氏が想を練る内、一二月一三日には文部省より法人認可の通知があり、同二三日には登記手続を完了した。常任理事には高野氏、理事には高田氏が就任し、その届出がなされ、のちに(一九二三年一月)柿原政一郎氏が監事となった。大原氏はじめ、河田、米田、河上氏らの評議員はこの時をもって自然解職となったのである。

つぎに、研究所の寄附行為をかかげる。

大原社会問題研究所寄附行為 第一章 目的

第一條 本所ハ社会問題ニ關スル學術上ノ研究調査ヲ行ヒ社会問題ノ解決ニ資スルヲ以テ目的トス

第二條 前條ノ目的ヲ達スルタメ左ノ事業ヲ行フモノトス

- 一、社会問題ニ關スル學術上ノ研究調査ヲ行フコト
- 二、社会問題ニ關スル圖書及資料ヲ蒐集シ研究者閱覽ノ便ヲ圖ルコト
- 三、社会問題ニ關スル印刷物ヲ刊行スルコト
- 四、其他役員ニ於テ必要ト認メタル事業

第二章 名稱

第三條 本所ハ大原社会問題研究所ト稱ス

第三章 事務所

第四條 本所ハ事務所ヲ大阪市南區天王寺伶人町四千八百七十四番地ノ壹ニ置ク

第四章 資産及経費

第五條 本所設立當初ノ資産ハ設立者大原孫三郎ノ提供スル別紙目録ノ土地、建物トシ之ヲ基本財産トス

第六條 基本財産ニ編入スベキモノ左ノ如シ

- 一、基本財産トシテ寄附ヲ受ケタル金品物件
- 二、毎年度経費ノ剩餘金、但シ翌年度ニ繰越シ使用スルモノヲ除ク

第七條 資産ノ管理方法及其ノ處分ニ關シテハ役員會ノ決議ヲ經テ之ヲ定ム

第八條 本所ノ経費ハ左ノ諸収入ヲ以テ之ヲ支辨ス

- 一、設立者及有志者ノ寄附金
- 二、資産ヨリ生ズル収入
- 三、事業ヨリ生ズル収入
- 四、其他ノ収入

第九條 本所ノ豫算ハ役員會ノ決議ヲ經テ之ヲ定メ決算ハ役員會ノ承認ヲ經ルモノトス

第十條 本所ノ會計年度ハ毎年一月一日ニ始リ十二月三十一日ニ終ル

第五章 役員

第十一條 本所ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一、理事 二名
- 二、監事 一名
- 三、委員 若干名

第十二條 理事中一名ヲ常務理事トス常務理事ハ本所ヲ代表シ所務ヲ統理ス
常務理事疾病其他ノ事故ニ依リ事務ヲ執行シ能ハザル場合ハ他ノ理事其ノ職務ヲ代理ス

監事ハ事務、會計ヲ監査ス
委員ハ本所ノ重要事項ノ協議ニ與ルモノトス

第十三條 理事、監事ノ任期ハ三年トシ委員ノ任期ハ五年トス、但シ再選ヲ妨ゲズ
補缺ニ依リ就任シタル役員ノ任期ハ前任者ノ残任期間トス

第十四條 役員任期満了シタルトキ又ハ缺員ヲ生ジタルトキハ理事ハ委員中ヨリ之ヲ互選シ
監事、委員ハ役員會ニ於テ之ヲ選任ス

第十五條 役員ノ任期満了ノ場合ニ於テハ後任者ノ就任スル迄前任者ニ於テ其ノ職務ヲ行フ

第十六條 役員會ハ理事及委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第十七條 役員會ハ常務理事之ヲ召集シ且其ノ議長トナル役員會ハ役員會員半數以上出席スルニ非ザレバ開會スルコトヲ得ズ

役員會ノ議事ハ役員會全員ノ過半數ノ同意ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第六章 補則

第十八條 本寄附行爲ノ條項ハ役員會全員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得主務官廳ノ認可ヲ得ルニ非ザレバ之ヲ變更スルコトヲ得ズ

第十九條 本所設立當初ノ役員ハ設立者之ヲ定ム

右ノ通り相定メ候也

大正十一年十一月十六日

岡山縣都窪郡倉敷町千參番地

設立者 大原孫三郎

財産日録

一、土地

宅地 九百六十六坪 所在地 大阪市天王寺區伶人町二十四番地

右評價 金十萬圓也

一、建物 所在地 同上

本摺壁造本館 一棟 建坪 一百二坪二合八勺

二階坪 七十九坪四合三勺

三階 五坪四合

木造瓦葺口一カ 一棟 建坪 四坪五合

煉瓦造瓦葺書庫 一棟 建坪 三十三坪九合

二階坪 三十二坪五合五勺

三階 三十二坪五合五勺

木造瓦葺講堂 一棟 建坪 十六坪二合

二階坪 十一坪九合一勺

木造瓦葺住宅 一棟 建坪 二十一坪八合一勺

右評價 金十萬圓也

計 金二十萬圓也

一、建物 所在地 同上

煉瓦造瓦葺書庫 一棟 建坪 五十四坪三合三勺

二階 五十四坪三合三勺

三階 五十四坪三合三勺

右評價 金五萬圓也

一、書籍 一萬一千五百十九冊

洋書 五千六百三十一冊

和書 五千八百八十八冊

右評價 金三萬二千八百二十九圓六十五錢也

計 金八萬二千八百二十九圓六十五錢也

合計 金二十八萬二千八百二十九圓六十五錢也

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

